



新年のご挨拶

玩具人形健康保険組合
理事長 山縣 常浩



あけましておめでとうございます。

被保険者ならびにご家族の皆さまにおかれましては、すこやかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症によって生活に多大な影響が及び、不安な中で日々お過ごしのことと拝察いたします。こうした状況下におきましても、当健康保険組合の事業運営に対し、平素より多大なるご理解とご協力を賜り心から御礼申し上げます。

本来であれば、2020年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されるはずでしたが、新型コロナウイルスの感染拡大によって生活が一変しました。コロナ禍の日常において、改めて健康であることの重要さが、いっそう強く認識されたことと存じます。

健康保険組合ではコロナ禍に伴う景気面での打撃を受け、財源である保険料の減収が危惧されています。健康保険組合連合会は、状況次第では解散する組合が増加するとみており、団塊の世代が後期高齢者に移行し始めることで納付金負担が急増する「2022年危機」も控えるなかで、医療保険制度はこれまでにない危機的局面を迎えています。

一方で、今年の3月からはマイナンバーカードが保険証として利用できる仕組みが導入される予定です。導入後は窓口での限度額適用認定証の提示が不要になるなど、利便性向上が期待されています。

このような状況下、加入員の皆さまに人生100年時代を安心してすこやかに過ごしていただくために、当健康保険組合はこれからも皆さまの健康づくりに取り組んでまいります。

皆さまにおかれましても、ご自身やご家族の健康にご留意のうえ、引き続き健診の受診や、ジェネリック医薬品の使用等により医療費節減にご協力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、一日も早く平穏な日常に戻られることを心よりご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。